

【分野名：医学系】

大 学 名	兵庫県立看護大学
拠点のプログラム名称	ユビキタス社会における災害看護拠点の形成
中核となる専攻等名	看護学研究科看護学専攻
拠点リーダー氏名	山本 あい子
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>本拠点構想は、ユビキタス社会において、災害発生前の備えに始まり、災害直後から中・長期までを視野に入れて、災害によって生じる生命や健康への被害を最小限に抑えるための看護の支援方法と情報ネットワークを構築することを目的としている。これは災害看護学という新しい学問体系を構築すると同時に、災害後の地域の人々やコミュニティの復興と再生に貢献するものである。</p> <p>災害看護研究拠点は、3研究部門（情報基地の整備、ネットワークの構築、看護ケア方略の開発）から構成され、質問紙法・面接法・アクションリサーチ法などを用いて、相互に連携を取りながら本構想を推進する。拠点活動は、災害の調査（実態・追跡調査）とそのデータベース化、情報提供プログラムの開発、看護専門家支援ネットワーク（専門家、学術ネットワーク）・住民参加型支え合いネットワーク（地域再生力の支援）・災害看護国際ネットワークの構築、看護ケア方法の開発（災害前支援・災害後支援）教育・訓練方法の開発（専門家・住民支援）等を行う。</p> <p>本事業終了の5年後には、1．情報連携システムの構築によって、ITを介し必要な情報を入手可能とする、2．支援ネットワークの構築により情報交流の促進および災害時における適切なケア提供システムを稼動する、3．看護ケア方略の開発によって、災害後の地域住民個々の災害に対する自己管理能力の向上に貢献する、4．国際機関との連携の確立により世界的視野にたった災害看護研究や教育を行う、5．国際災害看護学会を設立し、この分野のネットワークの中心的役割を果たす、6．災害看護分野のスペシャリスト・研究者の育成を行う、これらの成果をもって世界の災害看護学発展の拠点となることを目指す。</p>	